



私家版 精神医学事典

春日武彦=著

定価3024円 (2800円+税8%)

河出書房新社 ☎03-3404-1201

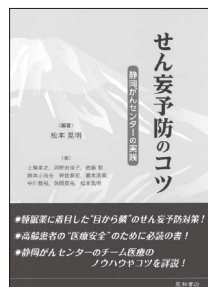
この事典はまず「神」の項目で始まる。「神は思いがけないところへ、不意に姿を現す。いかなる時代の、いかなる民族の、いかなる宗教の神であろうとその唐突さに変わりはない」。例えば1992年には、神はなんと「タイヤの表面」に顕現した。それをとっかかりに、「隠された必然」、「アトランティック・シティー上空の空飛ぶ円盤」、「ブリキの金魚」、「家族的無意識」…と連想は妄想の坂を勢いよく転がってゆく。博覧強記(狂気)の精神科医が、10年の歳月をかけた世紀の奇書! 実用的な事典ではもろくない、世界の無意味さ、不思議さ、滑稽さを堪能するための本である。作家の荒俣宏はこの本の帯に次の一文を寄せている。《妄想は、アタマで「理解」しようとするればツケ上がる。だからこの事典は、どんどん「野放し」にして妄想を吐き切れ、心に「口(クチ)」を割らせたのだ!》

せん妄予防のコツ 静岡がんセンターの実践

松本晃明=編著

定価2916円 (本体2700円+税8%)

星和書店 ☎03-3329-0031



睡眠薬に着目したせん妄予防対策。静岡がんセンターでは、せん妄対策についての方針を明確化し、院内での普及に取り組んできた。それにより、入院場面におけるせん妄は確実に減少しつつあり、これまで「起きて当然」と思われてきたせん妄の多くが予防可能もしくは軽症化できるようになった。「睡眠マネジメント」の具体的手法を紹介する。

つらいと言えない人がマインドフルネスとスキーマ療法をやってみた。

伊藤絵美=著

定価1944円 (本体1800円+税8%)

医学書院 ☎03-3817-5600



1人のクライアントは、感情を出す人を「レベルが低い」と見下す“オレ様開業医”のヨウスケさん。もう1人のクライアントは、自分より相手の感情を優先して他人の世話ばかりしてしまう“いい人心理士”のワカバさん。どちらの「つらいと言えない」人たちも、ひょっとして医療・福祉業界によくいるタイプ? そんな2人がマインドフルネスとスキーマ療法をやってみると……!

身体知性 医師が見つけた身体と感情の深いつながり

佐藤友亮=著

定価1620円 (本体1500円+税8%)

朝日新聞出版 ☎03-5540-7793



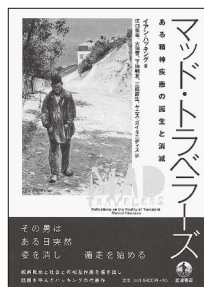
合気道家にして医師の著者が、どうにかして西洋医学の身体感と東洋的な身体の使用法をつなげたいと考えた。たどり着いたのは、感情の重要性と、それを生み出す身体のあるよう。結末が不確かな問題に合理的判断を下す仕組みを解き明かす。末尾では「オーブンダイアログ」と「べてるの家」の分析も試みる。合気道の師・内田樹との対談も収載。

マッド・トラベラーズ ある精神疾患の誕生と消滅

イアン・ハッキング=著 江口重幸ほか=訳

定価5832円 (本体5400円+税8%)

岩波書店 ☎03-5210-4000



ある時期、ある場所に出現し、のちに姿を消していく疾患というものがある。本書は今では忘れ去られてしまった「徘徊自動症」「徘徊狂」といった狂気の流行を深く探るなかで、精神疾患はどこまでが自然種なのか、そして今日流行している精神疾患も果たして本当に実存しているのだろうかという問いを投げかける。